

## プロフィール（自己PR）

●私は学校管理職向け月刊誌の編集に長く従事しています。学校に限りませんが、かつて「リーダー」と言えば「オレについてこい」型が主流でした。しかし時代は変わり、昨今それで人はついてきませんし、人口減少のなか選ばれる組織となりません。なによりメンバーは納得感を得られず成長できませんし、リーダーが間違えば組織自体が沈没します。これから生き残るのは、メンバーが対等な立場で対話し、納得解を見出したうえで前に進んでいける組織であり、リーダーの役割はメンバーを支えること、意欲を喚起することだと、多くの学校現場への取材等を通して学びました。私自身、編集長を務めるなかで、自分の意見を押し通すのではなく、メンバーが意欲をもって仕事に取り組める仕組みづくり、自身のあり方の見直しに尽力してきました。

●2017～18年度、中野区立江原小学校でPTA会長を務めました。保護者も学校も無理に活動している状況を少しでも緩和できればと、いくつかの改善に取り組みました。次につながった部分もありますし、うまくいかなかった部分もあります。素直に反省し、学び、自身の成長につなげていきたいです。

●教育の知識については、月刊誌編集の仕事を通して、国（政治家、文部科学省）の動き、各自治体の先進的な事例や意欲ある校長先生の学校経営の事例をある程度承知しています（常に情報を収集する必要があります）。他方で、他の自治体や学校の「目立つ」事例を取り入れれば即、自校も同じように目立てるとは限らないということもわかりました。本当に必要なことは、目の前の子どもたちを見て、その学校の教職員が自校で何が必要かを考え、行動できることだと思います。「主体的」で「自律的」な学校が広がるよう、仕事を通して取り組んできました。

●令和元年度には一般財団法人教員養成評価機構が行っている教職大学院認証評価に外部評価員として携わり、質の高い教員養成の取り組みを肌で感じました。

氏名 岡本淳之

教育委員になった際に取り組む課題（箇条書き）

※優先度の高いものから順に、3項目以内で記入してください。

1. (課題) 多様性の尊重	について
その解決方法（箇条書きで簡潔に）	
●区立中学校の校則の可視化（制服のあり方について各校で子どもを交えて検討）	
●整列／行進の見直し	
●過度な上下関係の見直し	
●「指導文化」から「支援文化」へ（「指導」は強いることであり、なんらかの事情で「できない」子どもは劣等感をもったり学校に来られなくなったりするため）	
2. (課題) 教職員の多忙	について
その解決方法（箇条書きで簡潔に）	
●学校がすべき業務と、それ以外の業務を可視化	
●学校からの積極的な情報発信（うまくいっていることも困っていることも）	
●家庭・地域との協働を進めるための「対話」の場を設定（コミュニティ・スクールへのステップとしても）	
●統合的な校務支援システムの導入（行政・学校・保護者をつなぐ）	
3. (課題) 不登校	について
その解決方法（箇条書きで簡潔に）	
●オンライン授業配信の制度化（学校任せにせず）	
●各校内にフリースクールの設置を検討	
●学級担任制から学年担当制への移行を検討	
●その子どもを学校に適應させるのではなく、学校のあり方自体の問い直し	

※この用紙はそのまま印刷して冊子にします

教育委員会に応募する理由（横書きで記入してください）

のT関社・要教かしおし立ま社校。  
 育Pにが本必、かと。まにりな学ん。  
 教、育ち日に校う区すし上あ能、せ支取が々の通い実  
 校が教たのち学ど野で募のは可はまをに要方るを合が  
 学たのも後たにが中時応牲で続にり校事必のす」し育  
 てし野どもめ域をく、犠能持めなり学仕く員に話重教  
 しま中子15年どた地かいえの可がたがにい職牲対尊校  
 ときて。子の・いて考か続ちく行政せて政犠「  
 者てした。後、そ者よしと誰持たいく行政せて政犠「  
 集し験し10年え、護ば行ば、はもて行政せて政犠「  
 編峙経ま10年え、護ば行ば、はもて行政せて政犠「  
 誌対をちる見何、い、て方組子くうに、が整はか間深野  
 雑に長持出をは政てえ立他仕。つがた関係境そ。係解な  
 育題会をに界力行っ考に。たんを体の校るすで、互幸  
 教課A心会世な育わて役たっせ会自そ学めま様く相ら  
 きるよう、尽力します。